

2020/12/25 (Fri.) 第127号

日本医師連盟ニュース

日本医師連盟ニュース
－ 発行所 －
日本医師連盟
東京都文京区本駒込6-12-1
SSかごまち301号室
〒113-0021
TEL: 03-3947-7815
FAX: 03-3947-2662
E-mail: info01@nichiren.jp

<http://www.nichiiren.jp/>

定価 1年400円 (但し日医連負担金に含む)



中川日医連委員長

下村政調会長

下村博文自由民主党政務調査会長と 中川俊男日本医師連盟委員長が 対談

新型コロナウイルス感染症対策をはじめとして 意見交換

健康維持のための取り組み

中川俊男日本医師連盟委員長が、11月26日、自由民主党本部を訪れ、政務調査会長室において、下村博文政務調査会長と新型コロナウイルス感染症対策をはじめとして対談した。今村聡日本医師連盟副委員長が、司会を務めた。

も速いですね。私は十年以上前に出場していました。

中川 七年前が最後でしたから、それ以前にも走っています。

下村 それでは一緒に走ったことがあるかもしれませんね。偶然ですね。

今村 下村先生は今の仕事では走るのなかなか難しいのでしょうか。

下村 はい、今はウォーキングぐらいですね。一日八千歩は歩くようにしています。ただ、相当意識しないと歩けません。会合等に少し早めに行ったら、その前に二、三十分歩くとかしています。八千歩といったら一時間二十分ぐらいかかります。一日一時間も空いているという事はまったくありません。で、合間、合間に歩いています。

今村 中川先生は靖国神社に行ってお参りしてから走ると聞かれています。

中川 靖国神社には毎日行っています。ただ、ランナーの格好をしていますから、本宮には行けません。遠くからお参りします。境内の入り口にある大村益次郎さんの像の真っ正面に走っていくようにしています。大村益次郎さんにご挨拶して、左折して皇居に向かいます。

下村 日本医師会長が毎日靖国神社にお参りしていることは

存じませんでした。先生の個人柄が伝わって参りました。

新型コロナウイルス感染症対策について

今村 それでは本題に入ります。新型コロナウイルス感染症に対応する医療機関と地域を面で支える医療機関が必要だと考えていますが、これについて医療側と自民党側の意見をお聞かせください。

中川 秋から冬はインフルエンザの流行期なので、新型コロナウイルス感染症の対応のみならず、こちらの対応も合わせて必要になります。厚生労働省は九月十五日に閣議決定された第二次補正予算予備費を活用した、「診療・検査医療機関（仮称）」による発熱外来診療体制を支援するための補助事業を実施し、さらに、次のインフルエンザ流行に備えて発熱患者等が医療機関を受診した場合の流れについて示しています。少しでも多くの医療機関に発熱患者を診療する体制を整えていたきたいと考えています。

下村 国としても、予備費に



今村日医連副委員長

において、発熱患者等を対象とした外来体制をとる医療機関への補助等を実施しています。引き続き、都道府県の実況を伺ったうえで、必要に応じて技術的助言を行うなど、都道府県とともに体制整備を進めて参りたいと考えています。

医療機関の経営に対する実効性のある対策

今村 緊急事態宣言が発令されたなか、新型コロナウイルス感染症の拡大防止・収束に向けて、ウイルスに立ち向かい、治療を業務として行う医療機関の医療従事者等に対して、「新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金」が交付されましたが、それだけではまだ不十分です。また、コロナ禍で大きな影響を受けて経営に苦しむ医療機関は、医療従事者等に手当を出せない状況にあります。これに対して中川委員長はどのようにお考えですか。

中川 医療機関等に対する支援は実施されており、第二次補正予算による支援金は八月下旬よりようやく医療機関に振り込まれ始めました。さらに、九月十五日に新型コロナウイルス感染症に対応した医療機関等へのさらなる支援が閣議決定されました。しかし、疲弊した医療機関に心えるだけの額には至って



対談の様子

中川 全世代型社会保障に関する議論のなかで、私は「後期高齢者の患者負担割合のあり方」と「外来機能分化と二百床以上の一般病院への定額負担拡大」の二つが大きな問題だと考えています。まず、前者については、コロナ禍での受診控えによる今後の健康への影響が懸念されるところです。したがって、さらなる受診控えを生じさせかねない政策をとり、高齢者に追い打ちをかけるべきではないと考えています。次に、後者についてですが、外来機能については、かかりつ

け医機能の考え方が定着しつつあります。が、専門医のあり方も含め地域格差や医師の偏在などが大きく存在しています。実態を把握することにも、医療資源のみに着目することなく、医師の教育課程も含めた将来的な視点からの議論が必要だと考えています。

中川 国民の皆さまが安心して受けられる医療の実現、私共が理想と考える医療の実践を可能にするためには、中央と地方で強力に医政活動を展開しなければなりません。そのため、日本医師連盟、都道府県医師（政治）連盟、各地域の医師連盟が重層的に医政活動を展開しています。医師連盟は、国民生活を医療・健康の面から支えるべく医療政策や予算について自民党の先生方と長年議論を重ねて参りました。国民の命や医療提供体制の維持、国民皆保険制度の堅持といった課題に引き続き真摯に取り組んで参ります。自民党の先生方には今後も医師連盟を社会保障政策に関する責任あ

るカウンターパートとして対応していただきたいと思います。その信頼関係は「医政なくして医療なし」といえるほど密接なものとなっていますので、今後も切れ目のない議論を続けて参りたいと思います。

今村 そのとおりですね。下村先生はどのようにお考えでしょうか。

下村 医師連盟の皆さまには、各級選挙でのご支援や職域支部における党員の確保など、目ごろからわが党の党勢拡大に多大なるご協力を賜っていることを、心から御礼申し上げます。また、わが党が医療政策を推進するに当たっては、現場を担う医師連盟の皆さまのご意見を大切にしながら行ってきたものと考えています。今後その方針に何ら変わりはなく、医療現場が抱える問題を解決し、医療政策を充実・発展させていくた

め、医師連盟の皆さまと一緒う手を携えて取り組んで参る所存です。改めて、変わらぬご支援を心からお願いいたします。

今村 本日は、新型コロナウイルス感染症対策と医療機関の経営支援、全世代型社会保障のあり方、最後に医政活動の重要性にも触れていただき、充実した内容になりました。下村先生、本日は誠にありがとうございました。

（一面より）
おらず、地域を面で支える医療機関へのさらなる支援が必要だと考えています。また、入院外総件数の対前年同月比は、本年五月のマイナスが最も大きく、六月にはややマイナス幅が縮小しましたが、七月、八月と改善傾向がみられません。とくに小児科、耳鼻咽喉科は、要因のひとつであると推察される受診控えが続いていることが伺えます。全体的な追加支援と、さらに小児科および耳鼻咽喉科に対しては、集中的な支援が求められます。

今村 医療機関の経営を支援することが必要だと考えておりますが、政治的にはどのような対応をお考えでしょうか。

下村 新型コロナウイルス感染症患者の受入れを実施していない医療機関に対する支援も含めて、補正予算と予備費を合わせてこれまで約三兆円の措置を

行っておりまして。まずは、これらの支援を医療現場の皆さんへ速やかにお届けすることが重要であると考えています。そのうえで、地域での医療提供体制の維持・確保の取り組み・支援については、今後の感染状況や地域医療の実態等を踏まえ、類型ごとの医療機関等における経営状況等も把握し、そのあり方も含め、しっかりと検討し、対応に万全を期していきたいと考えています。

今村 現在、全世代型社会保障に関する議論が行われています。そのなかで、「後期高齢者の患者負担割合のあり方」と「外来機能分化と二百床以上の一般病院への定額負担拡大」について議論されていますが、これらについてどのようなお考えをおもちでしょうか。

中川 全世代型社会保障に関する議論のなかで、私は「後期高齢者の患者負担割合のあり方」と「外来機能分化と二百床以上の一般病院への定額負担拡大」の二つが大きな問題だと考えています。まず、前者については、コロナ禍での受診控えによる今後の健康への影響が懸念されるところです。したがって、さらなる受診控えを生じさせかねない政策をとり、高齢者に追い打ちをかけるべきではないと考えています。次に、後者についてですが、外来機能については、かかりつ

け医機能の考え方が定着しつつあります。が、専門医のあり方も含め地域格差や医師の偏在などが大きく存在しています。実態を把握することにも、医療資源のみに着目することなく、医師の教育課程も含めた将来的な視点からの議論が必要だと考えています。

中川 国民の皆さまが安心して受けられる医療の実現、私共が理想と考える医療の実践を可能にするためには、中央と地方で強力に医政活動を展開しなければなりません。そのため、日本医師連盟、都道府県医師（政治）連盟、各地域の医師連盟が重層的に医政活動を展開しています。医師連盟は、国民生活を医療・健康の面から支えるべく医療政策や予算について自民党の先生方と長年議論を重ねて参りました。国民の命や医療提供体制の維持、国民皆保険制度の堅持といった課題に引き続き真摯に取り組んで参ります。自民党の先生方には今後も医師連盟を社会保障政策に関する責任あ

全世代型社会保障に関する議論について

今村 下村先生はこれらについてどのようなお考えをおもちでしょうか。

下村 現在、後期高齢者の所得基準について、高齢者の疾病や生活の状況も踏まえたうえで、負担能力に応じた負担をいただく観点から、政府の全世代型社会保障検討会議や関係審議会において、年末の取りまとめに向けて議論が行われています。この議論の状況を踏まえながら、与党としても、丁寧な検討して参ります。他方、「定額負担」に関し、外来医療は、全世代型社会保障検討会議の中間報告で「大病院は専門外来に集中し、外来診療は紹介患者を基本とする。一般的な外来受診は、かかりつけ医機能を発揮する医療機関が担う方向を目指す」とされています。これを踏まえ、外来機能の明確化とともに、大病院の定額負担の拡大について検討しており、患者の状態に合った質の高い医療が提供されるよう取り組んで参ります。併せて、養成課程を通じた医師偏在対策も進めて参りま

中川 国民の皆さまが安心して受けられる医療の実現、私共が理想と考える医療の実践を可能にするためには、中央と地方で強力に医政活動を展開しなければなりません。そのため、日本医師連盟、都道府県医師（政治）連盟、各地域の医師連盟が重層的に医政活動を展開しています。医師連盟は、国民生活を医療・健康の面から支えるべく医療政策や予算について自民党の先生方と長年議論を重ねて参りました。国民の命や医療提供体制の維持、国民皆保険制度の堅持といった課題に引き続き真摯に取り組んで参ります。自民党の先生方には今後も医師連盟を社会保障政策に関する責任あ

下村 医師連盟の皆さまには、各級選挙でのご支援や職域支部における党員の確保など、目ごろからわが党の党勢拡大に多大なるご協力を賜っていることを、心から御礼申し上げます。また、わが党が医療政策を推進するに当たっては、現場を担う医師連盟の皆さまのご意見を大切にしながら行ってきたものと考えています。今後その方針に何ら変わりはなく、医療現場が抱える問題を解決し、医療政策を充実・発展させていくた

中川 国民の皆さまが安心して受けられる医療の実現、私共が理想と考える医療の実践を可能にするためには、中央と地方で強力に医政活動を展開しなければなりません。そのため、日本医師連盟、都道府県医師（政治）連盟、各地域の医師連盟が重層的に医政活動を展開しています。医師連盟は、国民生活を医療・健康の面から支えるべく医療政策や予算について自民党の先生方と長年議論を重ねて参りました。国民の命や医療提供体制の維持、国民皆保険制度の堅持といった課題に引き続き真摯に取り組んで参ります。自民党の先生方には今後も医師連盟を社会保障政策に関する責任あ



対談を終えて

日医連、自民党から表彰状を受ける



（左から）釜范敏日医連常任執行委員、今村聡日医連副委員長、中川俊男日医連委員長、二階俊博自民党幹事長、小野寺五典自民党組織運動本部長

羽生田先生からのご寄稿いただきました

自民党厚生労働部会長代理
医師の働き方及びタスクシニア・タスクシフトのあり方に関するPT座長
参議院議員

羽生田 たかし 活動報告



平素より私の政治活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の対応をはじめ、すべての疾患に対応し地域医療をお支えいただいておりますことに敬意と感謝を表します。

また、活動報告として連盟ニュースへ寄稿の機会をいただきありがとうございます。中川俊男委員長をはじめ、関係各位の配慮に感謝申し上げます。

日本中で第三波といわれる急速な感染拡大、感染者の急増により、重症患者も地域によっては限界に達し、各医師会においても日々対応に追われるなか、発熱患者の外来診療・検査体制確保事業において一部地域では対応機関名の公表などの問題があり、行政との条件調整なども含めご苦労を強いていることと思います。



「HPVワクチンの積極的勧奨再開を目指す議員連盟」にて

また、感染予防対策もさることながら従事者の確保やモチベーション維持、加えてメンタル面での支援に関しても沢山の先生方からご意見をいただいているところであります。「コロナによって一軒の医療機関も失ってはならない」と繰り返し主張し、医療機関への財政支援について政府へ提言を重ねております。

ところで、収入に占める医療費の負担額は大きくなります。治療をしながら社会活動をする世代へいたずらに負担を強いることは到底賛同できず、応能負担は限定的であるべきであります。国民の理解を得られる議論と検討が必要であるとして、十一月十二日の参議院厚生労働委員会においても厚労大臣へ質問をしてきたところであります。

また、「医師の働き方改革」についてですが、本年末までに政府の検討会で中間とりまとめを行う予定であり議論が加速します。しかし、まだまだ地域には国での議論が伝わっておらず、千八百六十時間の上限規制のみが先行しておりますが、医師派遣が途切れる等の懸念もあり、どのような規制の形態で医療現場にどのような影響を及ぼすのか、地域の医療を支えてもらえる皆さまと意見交換をしつ



「ドクターヘリ推進議連」厚労大臣へ決議申入れ



「医師の働き方及びタスクシニア・タスクシフトのあり方に関するPT」座長として役員会を開催



「厚生労働部会薬事に関する小委員会」にて



参議院世耕弘成幹事長・中川会長との面談



「厚生労働部会正副部会長代理会議」にて



「国民医療を守る議員の会」役員会にて



「第2回不妊治療への支援拡充を目指す議員連盟」総会にて



「新型コロナウイルス感染症対策本部」にて



「中国四国医師会連合総会」にて挨拶



「人生100年時代戦略本部」にて

つ進めていかねばならないと思っております。

現在、二〇三五年までにはすべての医療機関は上限九百六十時間を目標とする。念頭に、激変緩和のための暫定水準として、B水準（地域医療確保暫定特例水準千八百六十時間を特例上限とする医療機関）を知事が指定する方向で議論がされています。これはA水準（上限九百六十時間の医療機関）へ将来的には移行されるものであります。また、自院の労働では九百六十時間を超えないものの、地域医療を支えるために医師派遣を行うことによって九百六十時間を超してしまう医師のいる医療機関を「連携B水準」という形で指定することも検討されています。さらにはC水準（集中

的技術向上水準）といった技能習得のための区分なども検討されており、いずれにせよ産業医の活用やインターバルの確保、振替休暇の取得などの労務管理などが条件となっております。

この検討事項には多くの意見があるかと思いますが、医師として過労死ラインといわれる時間を超えての医療提供は、個人差はあるが確実に負担となり、患者側からみれば医療安全の意図においても改善すべき点であることが、現場を支える皆さま方にはご理解いただけたと思います。

どのような支援や対応が必要なのかを現在の状況を踏まえ点検する必要があります。地域から「派遣がなくなる、通常の診療や手術に影響がでる、派遣を切られるとすぐに医師不足に陥る、診療科目に不足が出る」などさまざまなお声をいただいております。寝当直や待機時間を労働時間から除外するなどの措置も必要でしょう。労働基準監督署や勤務環境改善支援センターの機能も労働管理という視点だけでなく、「医療」というものをしっかり認識していただき、地域における医療はセーフティネットであるという視点で柔軟かつ謙抑的な運用をご理解いただかねばなりませんし、仮に当直時間が労働時間からの除外を受けたとしてもその費用は発生します。そのため、当然のことながら財政的支援や財源の確保は必須であります。現在の報酬形態では人員を補填することすら難しいのが現実です。

大学病院等の医師引き上げも懸念されておりますが、それだけの医師給与を大学だけで賄うのは容易ではなく、医師の養成や育成は地域医療全体で育むことが重要であります。

議論には十分な時間が必要であり、コロナ対応が混沌とするなかでもその議論の時間を確保すること、判断は難しいと考え、今後のルール作成のスケジュールは延長も視野に入れることが必要と考えております。

私も「自民党医療委員会医師の働き方及びタスクシニア・タスクシフトのあり方に関するPT」座長として、「地域医療の継続性」と「医師の健康への配慮」の両立を図り、現場の皆さまのご理解を賜れる法律となるよう努力して参ります。

自見先生からのご寄稿いただきました

参議院議員 自見はなこ 活動報告

「国民医療の発展に向けて」



平素より大変お世話になっております。新型コロナウイルス感染症の感染者数が増加傾向に転じ、予断を許さない情勢が続くなか、最前線で医療提供体制を支えていらっしゃる先生方に心からの感謝を申し上げます。

億円は医療機関・薬局等での感染拡大防止支援やワクチン接種体制整備、小児科等への支援など医療機関等支援となります。予算の迅速な成立と執行のため、引き続き引き締めて取り組んで参ります。

参議院予算委員会での質問

十二月五日、第二百三十三回国会が閉会しました。厚生労働委員会理事として法案審査等に臨み、新型コロナウイルス感染症のワクチンを迅速に接種する体制を整えるための予防接種法改正案を可決成立させることができたほか、検疫法改正案も可決成立で、新型コロナウイルスの感染が確認された入国者に対する隔離や停留といった措置を来年二月以降も実施できるようになりました。

十一月二十五日、参議院予算委員会に質問に立ち、菅義偉総理大臣に医療機関の逼迫状況をお話ししたうえで、国民の命と暮らしを守るための経済と医療への支援について決意を伺いました。菅総理大臣からは、国民の命と暮らしを守ることを政府の最大の責務としたうえで、まずは感染拡大防止を徹底し、そのうえで経済社会を両立させていきたいと強い決意をお示しいただきました。また、女性や子どもを取り巻く環境について成育基本法の理念に照らした所感を伺い、妊娠からの切れ目ない支援体制構築が重要であり、



10月27日 小児科への支援を求める要望書を、日本小児科医学会、自民党有志議員とともに田村厚生労働大臣に提出



11月12日 不妊治療への支援拡充を目指す議員連盟として、菅総理大臣に要望書を提出



11月19日 参議院厚生労働委員会にて質問に立ち、医療機関への支援を訴えたほか、新型コロナウイルスの感染が拡大している現在の情勢は、公衆衛生学的見地から保健所での積極的疫学調査を一度やめて、より重症化しやすい方々を迅速に入院へつなげるため医療・保健資源を集中させてシフトさせていくべき局面であると指摘して、翌11月20日、厚生労働省から事務連絡「積極的疫学調査における優先度について」を出していただくことができました



11月25日 参議院予算委員会



12月1日 参議院厚生労働委員会にて、理事として予防接種法の附帯決議を読み上げました

に、新型コロナウイルス感染症に対応するための訪日外国人観光客向けとなる二元的なサポート窓口である外国人観光客等発熱健康サポートセンター(仮称)を設け、また訪日外国人観光客の健康情報等を管理する入国者健康管理システム(仮称)を整えることで、安心して観光を楽しんでもらうとともに、万一感染が

参ります。システム等の予算も、第三次補正予算に九十五億円を盛り込むことができました。引き続き、しっかりとフォローアップして参ります。

政府として不妊治療をはじめ女性や子どもへのさまざまな支援を総合的に推進していく旨の答弁をいただきました。東京オリンピック・パラリンピックの開催についても、感染対策を徹底して行い、医療機関や保健所に負担がかからない施策のもとで行うべきとの観点から、①PCR等検査の陰性証明、②アプリを活用した入国後十四日間の健康報告義務、③民間医療保険の義務的加入、これら三つを入国の条件とすることについて田村憲久厚労大臣、上川陽子法務大臣、茂木敏充外務大臣、平井卓也デジタル改革担当大臣にそれぞれ質問し、各大臣から重要な提案としてしっかり受け止める旨のご答弁をいただいたほか、橋本聖子東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣にも五輪開催に向けた決意を伺い、「安心で安全な大会を必ず実現させる」とご答弁をいただき、菅総

理大臣からも政府として安全な大会を実現してその後の観光客受け入れにも対応できる体制に向け、WHO等の国際機関とも連携して進めていく旨の強い決意をお示しいただきました。PT(発足当時、座長・萩生田光一衆議院議員、事務局長・自見はなこ)の発展型です。「外国人観光客に対する医療PT」が二〇一八年四月に取りまとめ、菅内閣官房長官(現内閣総理大臣)に申し入れを行った「外国人観光客に対する快適な医療の確保に向けた第一次提言(QRコード上段参照)」には、医療機関や宿泊施設の多言語対応等や、民間医療保険への加入勧奨、感染症対策の強化など、現在求められる施策の原型が数多く提言されています。こうした土台の上に新たなPTは発足し、十一月六日〜十二月三日まで全七回開催し、業界団体や有識者からのヒアリング等を実施し、提言(QRコード下段参照)を取りまとめました。

提言では、入国前・滞在中、出国時までの訪日外国人観光客による一連の行動における感染拡大の恐れがある要因について、関係各機関とのデジタル技術連携と協力により統一的なサポートセンター(仮称)を設け、また訪日外国人観光客の健康情報等を管理する入国者健康管理システム(仮称)を整えることで、安心して観光を楽しんでもらうとともに、万一感染が

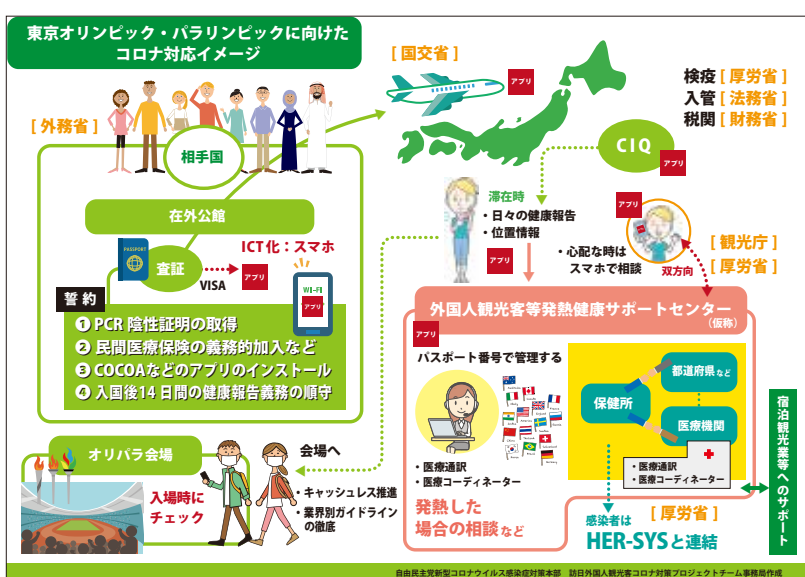
合的かつ個別的に管理して対策を講じ、早期発見・早期対応の実現を通じて「持ち込まない・広げない」感染拡大防止を多重的に図り、保健所の負担軽減と旅行業や宿泊観光業が安心して外国人観光客を迎え入れる体制を整備することを基本的な考え方としていきます。その実現のために、新型コロナウイルス感染症に対応するための訪日外国人観光客向けとなる二元的なサポート窓口である外国人観光客等発熱健康サポートセンター(仮称)を設け、また訪日外国人観光客の健康情報等を管理する入国者健康管理システム(仮称)を整えることで、安心して観光を楽しんでもらうとともに、万一感染が



2018年4月27日 外国人観光客に対する快適な医療の確保に向けた第一次提言



2020年12月3日 訪日外国人観光客コロナ対策PT提言について



訪日外国人観光客コロナ対策PT提言添付資料 東京オリパラに向けたイメージ